

末崎中学校事前学習 ～ゲームで学ぶ森林づくり～

三陸中部森林管理署では、平成15年から大船渡市立末崎中学校と「遊々の森」の協定を締結し、林業体験を通して「森林を守り育てる大切さ」や「森林と海とのつながり」について理解を深める取組を支援しています。



林業体験に先立ち、令和5年9月14日に当署の職員が講師として中学校へ赴き、事前学習を行いました。事前学習では、大きく分けて以下の5つの項目についてお話ししました。

1つ目は、「森林のはたらきと私たちの生活」をテーマに、「そもそも森林とはどのようなものなのか？」や「森林のはたらき」についてお話ししました。

2つ目が「森のいきものたち」です。森のいきものたちの生態以外にも、いきものと私たち人間がどのように関わっているのかについてもお話ししました。ツキノワグ

マが50mを4秒台で駆け抜けると説明した時には、「おー！」と驚きの声が上がりました。

3つ目は、「豊かな森林にするために」についてです。人工林の森林づくりとして、「地拵・植付・下刈・除伐・間伐・主伐」について説明しました。聞き慣れない言葉ばかりで講義の内容としては難しかったかもしれませんが、イメージしやすいように写真を多く使用したり、クイズを出題する等工夫を凝らしたりしてお話ししました。

4つ目に行ったのが、「ZORING」という対戦形式のカードゲームです。このゲームは、森林づくりについて楽しく学んでもらいたいという思いから製作した、当署オリジナルのものになります。私はゲームのルール説明を担当しました。今回が「ZORING」の初お披露目だったため、ルールは分かりにくくないか、つまらなくないかとずっとドキドキしていました



が、生徒の皆さんは想像していた以上にルールを覚えるのが早く、最後にはどの班も大盛り上がりで安心しました。生徒の皆さんからは、「すごく楽しかった！」「病虫害の予防として薬があることを初めて知った。」等、嬉しい感想を沢山聞くことができました。「ZORING」の製作に私自身も携わっていたので、生徒の皆さんの感想はとても嬉しく、作って良かったなと思いました。

最後に説明したのが、9月27日の林業体験で使用する道具の使い方や服装、持ち物等についてです。

今回の事前学習を通して、生徒の皆さんに少しでも森林や林業について興味を持ってもらえたらと思います。

なお、今回の事前学習の様子は15日の東海新報、18日の岩手日報に取り上げられました。

